

DOKIGAWA

リバーキーパーズ

RiverKeepers



つうしん

Vol.222 (令和5年11月)

今年も、コタツが恋しくなる季節がやってまいりました。リバーキーパーズの皆さまはコタツの使い方に気を付けているでしょうか？寒い日のコタツはあたたかくて一度入るとなかなか簡単には抜け出せなくなってしまいます。そのため、抜け出せないまま貴重な休日が過ぎてしまうこともあるのではないのでしょうか。また、コタツで寝てしまうと体のどこかを痛めてしまうことや風邪をひいてしまうこともあります。そうならないために、コタツの温度を下げたり部屋全体の温度を上げる、どれだけ気持ちがよくてもコタツに入ったままで寝ないようにするなどしてコタツをうまく使っていきましょう。

今月号は、「土器川かわ歩き」の特集号となります。

○熱i・土器川プロジェクト「土器川かわ歩き」～土器川をより身近に～

香川河川国道事務所では、地域協働による土器川の利用と維持管理を目指す取り組みとして「熱i・土器川プロジェクト」を立ち上げています。11月18日(土)に、取り組みの一環として、香川大学名誉教授の長谷川先生の案内で、土器川かわ歩きを開催いたしました。今回、「ジオで巡る瀬切れの謎」をテーマに常包橋、大川頭首工、天神床固、まんのう大橋、なかむらうどん前の河川敷を巡りました。前日の雨により、瀬切れが解消され、実際に瀬切れ状態の土器川を体験し、瀬切れ箇所の河床材料を採取・確認することはできませんでしたが、瀬切れができる理由について上流から河床材料の変化をもとに地質を推定するなど、参加者の皆さまに説明していきましました。

来年度も開催予定ですので、皆さまのご参加をお待ちしております。



移動中に説明している様子



大川頭首工で説明している様子

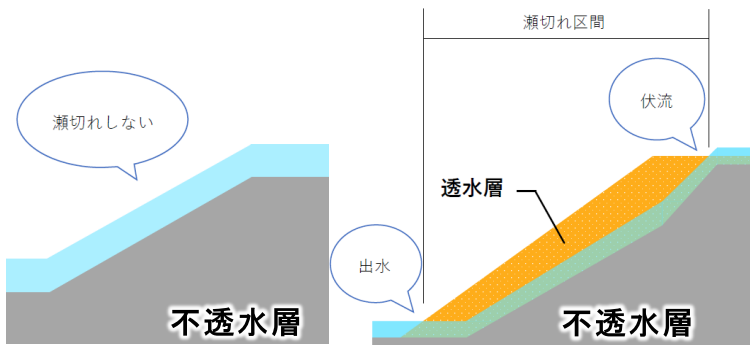


地質を説明している様子



集合写真

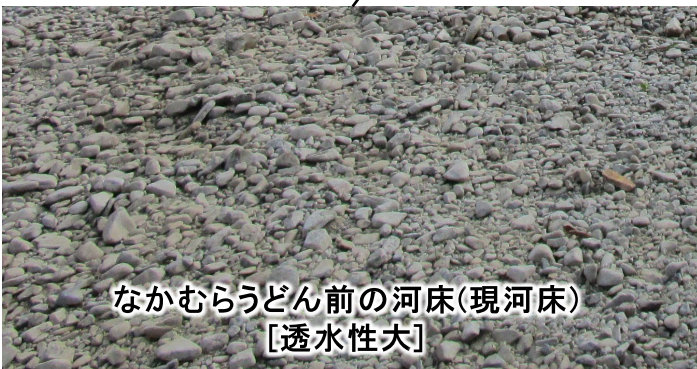
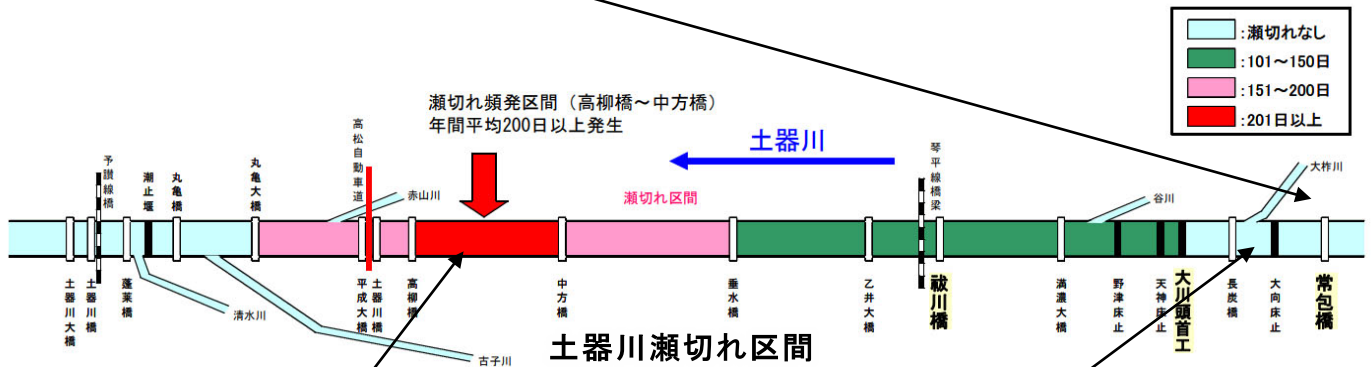
瀬切れの謎について



透水性の低い硬い岩盤や粘土層などから構成されている層(不透水層)の上に、透水性の高い礫や砂などが堆積することでできる層(透水層)内に水が潜り込み瀬切れを起こすよ。

今回の巡った場所の中では、なかむらうどん前の河床が該当するよ。

上流から下流になるにつれて透水性の高い層になっているよ。



土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしとご意見をお寄せください。

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは



国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32
TEL:087-821-1619(工務第一課直通) FAX:087-821-1713

